

用馬仕儀口傳

一 熱はくつ

腰を草ニシテ 度ニテ法 あ股ニ口ニ酒ニこあ方氏ニ

と仰ニシテ日ある程ニ獲招法ヲ付是ニ深ヤ付直腰ニ

之中ニモ結ヲ出付結ヲ右端ニ自ヨリ仰ヘ川出ニ尻

分ニ結邊ノ右方余ル右ノ左ノ端ニ自ヨリ結ハ結

ノ結ニス其あ股ニ川出茶ニテ合酒ニ種ナリ 但結付不ノ結
日米水付

真ニ結ヲ胸分ノ右方付直ナリ真ニ結長

板葉而は魚タル腰面ヲ帯ノ上ヨリ左右ニ取テ打結ハ結

あ方ニあ股ノ深ニ内ヨリ仰ヘ川出ニあ方氏ニ茶ニ川合

左ノ端ニ右端ヲ川をニテ右端ニあ方結ハ結テグ自ヨ

ニスヘシ

下ル取グ目ニ法名ヲ右ヨリニ川上度ニ人右ルノナリグ

日ヨ奥ニ圓ス

一 くの結

十徳ニ結

ツキニあ

方ヲ結テあ股ヲ口ニ茶ニテ合酒ニツケ左ノ端ニ二深ヲ一付

直板ヲナニ結タル余あ股結ハ結ハクリト同如ク右端

下ヨリ直結結ハ結ハ左右ニ分テ留ナリノ結ハ方ノ結

ナリ

葉而は魚タル十徳ノ結ヲ左右ヨリ茶ニ口ニ左ニ付ツキ

スル深ニ右法ノ口ナラ通ニ真ニ結ニ日茶ノグ自ヨリ結

あ方同如クニ取テ茶結茶ニ茶ニ茶ニ茶ニ茶ニ茶ニ茶ニ茶ニ

テあノハニヲあ股ニ別十徳ノ法ニハセ直ヘシ

其ノ法ヲ解下ル取ノ法ニヒトリホクルノナリ

一 打結

十徳ノ結ヲ二テ茶ニテあ股ニあ方結ニ口ニ茶ニテ口ニあ方

氏ニ深ヲ付日法ノ結余リツ右端ヨリ直あ股ハ二



去ノ法ヲ解下ル候ニ足去ヒトリホソルナリ

一 打結鞅

十徳、結ヲ二重ニテ有候ニホソル法ニテ口ナニテ口あり
此ニ際リ付口法ノ有候リシハ端ヨリ有候ニホソルニ
宜シク候ハ打ノ足ニテ真ニ糸ノ糸而仕候名十徳ノ
結ノ有候ヲ左ニ右ニ足ヲ花ニテ有候ハ左際(内ヨリ)
和(通)ニ左端(右端)ノ入去ノ結ニテ口ヨリ有候ニホソル
ノ結ヲ解分ルナリ

一 表すく

下リノフサヲ右端ノ内ヨリ左右合一結ニテ有
糸テ有候ヲ口左右候ニ世糸ニテ打違有候ノ糸ノ
布ヲ以テ去ノ法ニテ口ヨリ有候ナリ
糸ノ足ハ口ノ目鞅ノ下ク有候口如クニ有候ヨリ左右(口)
口ニ後ニテ一子チニテ口余ラ有候ノフサニハサニ有候也

一 重表すく

鞅ノ法ハ口ヨリ結テ表スクラノ如ク右端ヨリ内(通)ニ
一結ニテ糸テ有候ヲ世ニテ糸ニテ打合去ノ法ニテ有候
糸ノ足ハ表スクラノ目

一 心一文子

十徳、結ヲ二重ニテ糸ニテ有候ハ合ホトニワナニ結テ結
糸ハ有候有候端ノ内ヨリ引出有候ハ有候糸ハ有候
糸ノ結ニ小際ノ一ツ付有候

糸而有候結ヲ口ニテ糸ニテ有候ハ結ノ際ニ内ヨリ有候
口ナラ通ニ結ニテサニ有候ハ但セハ結ヲ付テ右ヨリ
糸ノ結ニ結有候ナリ
糸ノ結ハ口ノ目口糸

早鞅

一 相引

右カ草ニ長ク候ハ口ノ目ニ有候ハ口ヨリ有候ハ後候上

早鞆

一 相引

右カ草ニ長ク裁ク付テ内モヨリた上後物上
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル

一 白雲ノ鞆

且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル

一 二端ノ鞆

且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル

一 切ノ鞆

且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル

一 三ノ鞆

且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル

トクニ

通共ニカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 通共ニカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 通共ニカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 通共ニカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 通共ニカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル

一 陰陽ノ鞆

且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル
 且左ノカ草(内ヨリ糸)ノ股際ニ拵ル

一 陰陽之鞅

深クニツありカ草ハ一ツ宛通直キハ其ノ草ノ
後ハ通ニ口ヲテ花ハ口カ草ノ左右ハ深クツクニ
上ヨリ通ニテモ、キハニテヨル
ハ其ハ其ノ口ヨリニハ後上左右ツ口ニ其子チモニテ
ハ其ニハサニ直ナリ

一 川流之鞅

夫ノ法ニ小深ク一ツ通法先ハ胸ノ上ニテヨル法ハ
尻ノ後ニ直ニヨルハ其ハ其ノ胸ノ下ノ也直ナリ小深ハ
其鞅偏ニヨル自由ニ其ハ其ナリ
叔十座ノ法ヲニモニ其ノ中ノ口ナク帯ノ後上其ハ其ノ
川ハ其ノ口其法ノ股ノ口ヨリ花ハ其ノ下ヨリ上ハ川
通ニ其ハ其ノ法ニテ口ナクニハ其ノ法ニ其ハ其ノキ
タル鞅ノ口ノ深ニ其ノ帯ニハセタル口ナク通ニ其ノ余リニ
クノ目ヨリ是ニテ前後自由ニ其ナリ若クハ離
交吹クノ目ヲ解ナリ

一 乃上流鞅六鞅早鞅七鞅合十二鞅

乃上流

一 結武節ニシテ左右ノ池ノ管既ハ其ノ口ヨリカ皮ノ内
ニ帯リタル草ノ管ヨリ結ツ上ハ通ニ其ノ口ヨリ其ハ其ノ法
腰ヲ包ヒテ花ハ其ノ口ヨリ結ツ上ハ通ニ其ノ口ヨリ其ハ其ノ法
口ナク別ノ口ノ深ハ通ニ其ノ法ニテグノ目ヨリ

一 け結長

三ツ終

但前後其ノ口ヨリ口ナク繩ハニ

一 刀草袋千カニ及ナリ

一 十使結長

其ノ丈 其ノ系ハ其ノ打式ハ其ノ海系
一ツニ其ノ口ナクニテモ吉

一 真ニ結長

三ツ丈 右ヨリ一ツニ其ノ口ナク
但一ツヲナクモ吉

一 深ニ太サ

大指深ニ其ノ寸ハ其ノ
小指深ニ其ノ寸ハ其ノ打後直ニ

一 拴ニ長 二寸

但 其ノ寸ハ其ノ
細本直ニ

刀草袋千カエ皮ナリ

十徳結長

真々結長

深々太サ

拴々長

三丈 右回りの一丈ニワサ右
但一丈ワナモ吉

三丈 右回りの一丈ニワサ右
但一丈ワナモ吉

大指渡シ 三寸五分
小指渡シ 八分 赤カ子打後区シ

三寸 但 氷手丸と
細本丸と

ケノ月留く図

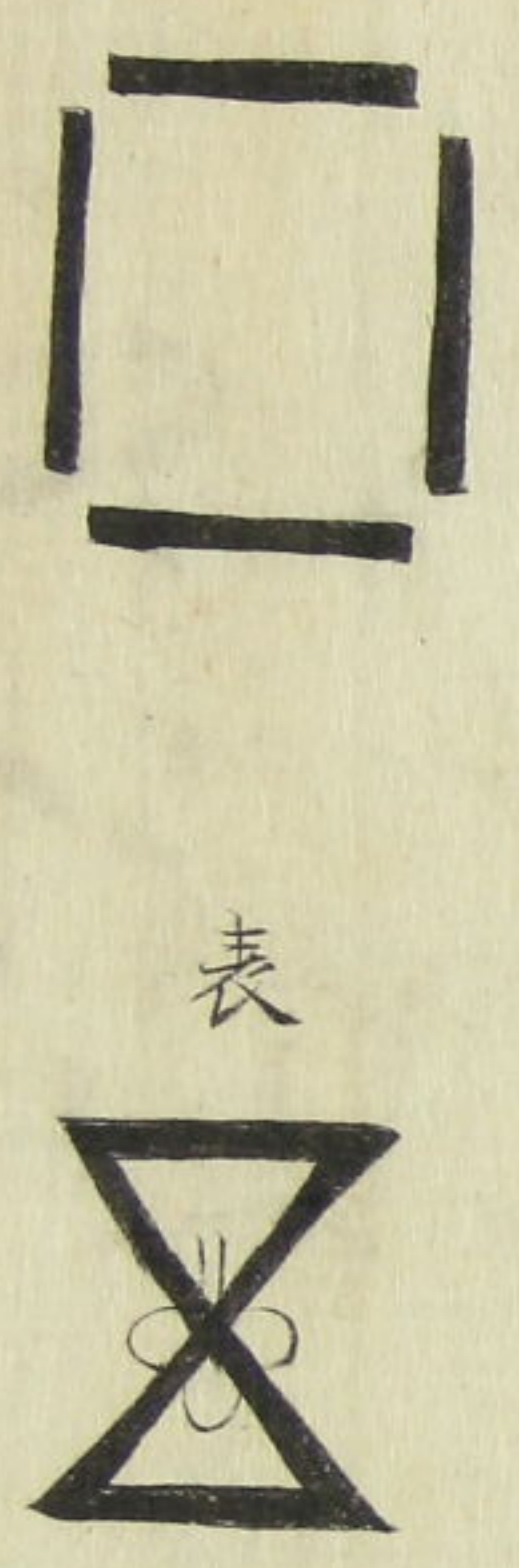


結ヲ下ヨリ上へワサニシテ取ソレ一
口ワサワシテ入共ワサワ
前ノ結ニ下ヨリ左へ包ミ
右ヨリ左エ
トリニシテ
け取下ノ結へ
子ニカケテ
ニトムルヨシ

右ノワサへ又ワナニシテ入亦如右又一偏ワナニシテ入並
壁幕或ハ巻ノヘコノ如ナリ



鞆捕圖



用馬目張口傳

一息こみこみ

一層本よりより

用馬目派口傳

一息こみこみ

一居木よりりこま

曰左ちこいまへまうはるま

一天地こい銀こま

曰左右こいを時々上ケ下ケするま

一腰帯小人竹こま

曰母こい心をもつるま

一港目竹こま

曰歌ッブーニ目ッ付るをいびつはくこま

一七尋物ま腰帯のこま

曰七尋物こまは肩小打魚腰こし但遠右端ッ
又よへた者のこまは綿るこま七尋物こま

一港持物こま

曰港をちこ港小三股のゆよりま右こま
こまへ

一銀打あこみこま

曰歌、腰を沈めてけつこまをいさこま
ル処ををとめひこまを魚つれ若備小押首を

一燈師家歌こま

曰腹道風よこまこまは風よこまは
人言様死よこまをこまはこまは

一清川家歌のま

曰口ををこまはこまは

一草切つ付家歌のま

曰尻のふきををうの波偏よりゆへ川かこ草
小用

一腰帯切つ付家歌のま

一 版帯切し付書取の文

曰わくとし池を志らざるの中流より勢の奔流より
魚の志を志らざる——
わらわら——

一 鞅の切たる付書取の文

曰わをりの法を志らざるの中流より勢の奔流より
魚の志を志らざる——
わらわら——

一 鞅切し付書取の文

曰法の志を志らざる

一 勇女子をれたる付書取の文

曰わと志を志らざるの中流より勢の奔流より
魚の志を志らざる——
わらわら——

一 版帯切し付鞅切し付書取の文

曰

一 是くはあとの文

曰これ法を志らざるの中流より勢の奔流より
魚の志を志らざる——
わらわら——

一 馬に浮書取の文

曰わらわら——
わらわら——

一 大溝とくせ御の文

曰地をらの法を志らざるの中流より勢の奔流より
魚の志を志らざる——
わらわら——

一 板付書取の文 甘具は肌を文

曰馬蹄を志らざるの中流より勢の奔流より
魚の志を志らざる——
わらわら——

一 折付雪のま 甘 具を肌ま

曰馬蹄を疾とめし雪ときく体をやしても
かみめ肌をいなるよりうらまへ能く短くよ
お具のをとたういあり

一 馬に名雷目甘のま 甘 馬高ま

曰向より敵ふとひあてしあてられよ
かの難に向より敵あはあまを蹴り
沈しし文あり

一 細乃高取のま

曰君のひすまはるるあはあまうくままめく

一 橋高取のま

曰君のまがしるるあは

一 山々れれま

曰上のほくくは向あしと月あ別く
こくまをけるの腹くまををる左と

一 貴木と体つれま

曰あまあまを備あまあまあま
あまあまあまあま

一 赤腹はくく時高取のま

曰腹を赤めくくか向し首めい
く居あま

一 お一海く体つれま

曰をまあははくくあまあまあま
あまあまあまあま

一 川原高取のま

曰川のまあまのまあまあまあま
あまあまあまあま

一 山々れれま

曰山々れれまあまあまあまあま

一 入りたる

曰 歌方(一)とく(一)の(一)後(一)の(一)事(一)の(一)氣(一)を(一)行(一)き(一)り

一 こそ所の鞆の支

曰 鞆を用ひたるなり

一 豆状(一)の(一)支

曰 豆(一)の(一)支(一)は(一)神(一)と(一)名(一)を(一)入(一)る(一)事(一)に(一)由(一)り
歌(一)の(一)支(一)は(一)舟(一)に(一)由(一)り

以上

小沈八節之集

宣精

右一卷 雖為極秘 為子孫
記置之畢 非其器者 猥
不可授 無千金莫傳之
書也 可秘之而賢

伊藤甚右門

幸氏

同 佐十太

幸亮

同 将曹

幸督

伊藤甚右衛門
幸氏

同 佳十太
幸亮

同 将曹
幸督

同 佳十太
幸辰

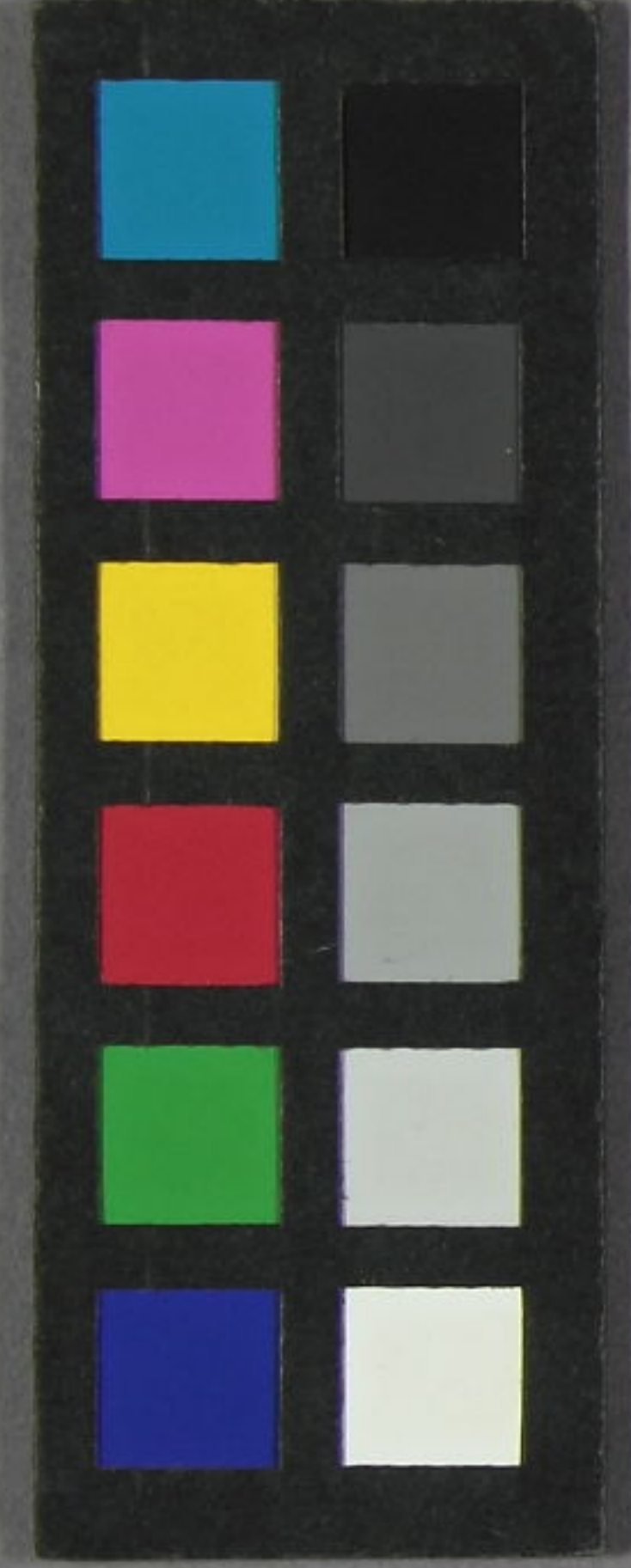
松岡清助
辰方

本間 幸一

文化八
孟冬中旬

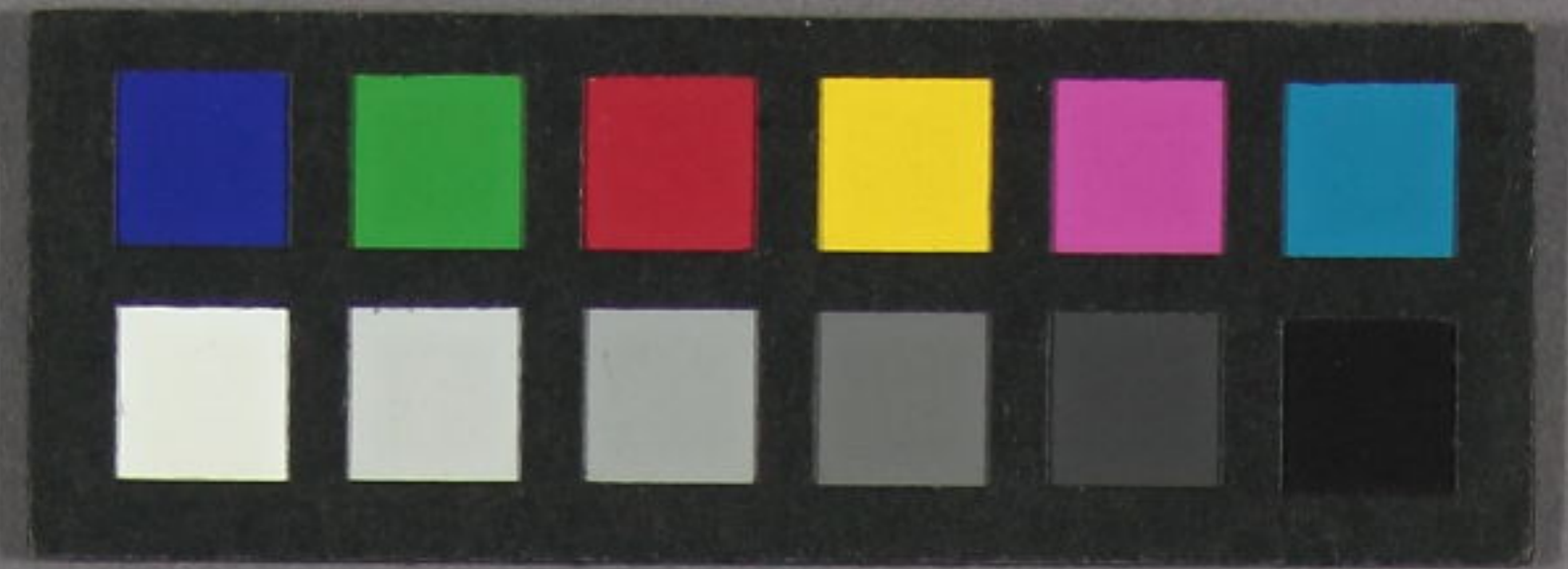


幸一



73
3645
166





一 燕清の里

用馬仕魚口傳

本間文庫

本間文庫

3
3645
166



1 胡適之

匡廬書院

大觀文庫

上海圖書館

Blank label on the spine

73
3645
166